

2021年夏、静岡と九州で二度にわたり大災害が発生。被災した地域は今も復旧・復興の途上にあります



「令和3年豪雨」 ご寄付のお礼とご報告

今年7月と8月に発生した豪雨被害の支援活動に対し、2021年11月末までに2,553万8,640円（運営費15%含む）のご寄付を頂戴しました。ご寄付をいただきました皆様、ありがとうございました！

なお、本支援事業のご寄付受付は2021年12月末までですが、地域の復旧・復興の道りはまだ道半ばです。Civic Forceは「NPOパートナー協働事業」を通じて、引き続き地域主体の復旧・復興の動きをサポートしていきます。

— 2021年、2度の緊急出動と平時の取り組み —

災害に強い社会へ 2022年も「備える。」

Civic Forceにとって、2021年も激動の1年でした。7月に静岡・熱海で土石流、8月には九州で豪雨が発生。特に、九州で降り続いた豪雨は、3年前の西日本豪雨を超える雨量が観測され「異常気象」と断定されました。

「災害は毎年起こる」。この1年を振り返り、災害の頻発・激甚化をより一層実感しています。11月、国連気候変動枠組条約の第26回締約国会議（COP26）が閉幕し、産業革命前からの気温上昇を「1.5度に抑える」との目標がたてられましたが、災害が増えていく状況は避けられないようです。

Civic Forceは災害支援を専門とする団体として、この現実と向き合い、2022年、これまで以上に「緊急即応体制」を整える活動に力を入れます。様々なリソースを有する企業やNPO、自治体などあらゆる組織や人と連携していくことで、災害の種類や時期によって異なる被災地のニーズを解決していけるよう尽力します。また被災地と被災地を結び、被災した人々こそが伝えられる情報や教訓の発信に努めます。

今号のニュースレターでは、2021年の活動をまとめてご報告します。

緊急支援



避難先の地で「SDGsの発信基地」をつくるNPOしんせい



4月

【東日本大震災】
新規プロジェクトスタート

東日本大震災から10年。時間の経過とともに浮上する課題に注目し、Civic Forceは「コミュニティ再生」「福島・保養支援」「記憶の伝承」の3テーマを軸に「NPOパートナー協働事業」を続けています。2021年は新たに5事業がスタート。2021年12月現在、以下8団体とのプロジェクトが進行中です。

【NPOパートナー】石巻復興支援ネットワーク／311受入全国協議会／相馬救援隊／こころスマイルプロジェクト／こそだてシップ／おはなしころりん／しんせい／おはこぎき市民会議

5月

【COVID-19】
被災地の
ネットワークを生かす

全国に広がる災害支援ネットワークを生かし、4～6月、全国23団体を通じてアルコールジェルとシャンプー・リンスなどを届けました。また、拠点とする佐賀のNPOを通じて、コロナ禍で困窮する世帯などに必要な物資を支援。以下5団体とのNPOパートナー協働事業も継続しています。



企業の協力で提供されたアルコールジェル

【NPOパートナー】日本YWCAカーロふくしま／石巻復興支援ネットワーク／被災地NGO協働センター／TEDIC／World Open Heart

7月



被災者の猫を預かるNPOくすのき

熱海土石流 緊急支援

大規模な被害を受けた伊豆山の浜地区、仲道地区、岸谷地区や避難所などで暮らす被災者に向けて、無償の臨時バスや送迎車の運行、タクシーチケットの配布などを行いました。また、お弁当や学用品、清掃道具、衛生用品などをお届けしつつ、9月からNPOパートナー協働事業を開始。お堂の清掃や被災した親子のケア、動物の保護などに取り組む5団体のサポートを続けています。

【NPOパートナー】めぐみ会／熱海キコリーズ／くすのき／しずおか共育ネット／テンカラセン

8月 九州豪雨 緊急支援



2019年に続き再び洪水被害に襲われた佐賀

8月14日、九州や西日本各地で大雨が降り続き、一時64万世帯以上に避難指示が発令されました。2年前の佐賀豪雨の教訓を生かし人的被害は少なかったものの、多くの家屋が浸水。Civic Forceは佐賀を拠点に、避難所への物資配布や地元タクシー会社と連携した移動支援を行いました。9月からはNPOパートナー協働事業を通じて、放課後等デイサービスの事業所の再開を支援しています。

【NPOパートナー】NPOガラバコス

2021

2022

佐賀県武雄市と
災害支援協定締結
(IBA-PADジャパン)

2019年に記録的大雨に見舞われた武雄市と災害時支援協定を締結しました。これまで続けてきた支援活動をより一層スムーズに実施し、一人でも多くの人を救うための取り組みです。

1月



小松政市長(右)と根本代表

コロナ禍の
避難所運営支援
(IBA-PADジャパン)



災害の多い佐賀県内の避難所などにサーモカメラや感染対策のポスターなどを届け、コロナ禍の避難所運営に関する意識向上に貢献しました。また、佐賀県建築士会と協力し、2019年佐賀豪雨で200人以上が避難した大町町公民館をモデルに避難所レイアウト設計を行いました。



パーティションの設置体験

避難所体験会

佐賀県大町町で「コロナ禍の避難所はどうなる？」をテーマに避難所体験会を実施しました。検温や消毒などを含む受付訓練、避難所ツアー、簡易ベッドやトイレの設置体験などを盛り込んだ体験会には、自治体や地域住民などが参加し、その2週間後に起きた九州豪雨でも経験を生かすことができました。

8月

9月



A-PADジャパンと統合

佐賀県の災害支援NPO、A-PADジャパンと統合しました。Civic Forceの全国ネットワークと、災害の多い九州での地域に密着した活動を融合させることで、迅速かつ的確な災害支援につなげます。

佐賀県
「企業版ふるさと納税活用型CSO
地域課題解決支援事業」に採択

10月

自助・共助・公助のバランスがとれた協働社会の創造を目指す佐賀県の「令和3年度企業版ふるさと納税活用型CSO地域課題解決支援事業」に、Civic Forceの「官民連携による九州佐賀の防災・災害対応推進事業」が採択されました。本事業を通じてよりニーズにあった支援物資を被災地に届ける仕組みを実現します。

Pick Up! 最大約9割軽減できる「企業版ふるさと納税」

企業版ふるさと納税の制度を活用した寄付を行うと、「損金算入による軽減効果(寄付額の約3割)」と合わせて、さらに6割が法人関係税から控除され、最大で約9割が軽減されます。詳しくはお問い合わせください。

平時の備え

3月



講師はさが水ものがたり館館長の荒牧軍治氏

過去の災害に
学ぶセミナー
(IBA-PADジャパン)

「佐賀の激甚災害の歴史に学び未来に備えよう!」をテーマにセミナーを開催しました。

トヨタ財団の助成プログラムに採択

公益財団法人トヨタ財団の「2021年度国内助成プログラム(テーマ:新常態における新たな着想に基づく自治型社会の推進)」に、「企業のモノとサービスが支援団体とつながる一デジタルプラットフォームサービスの創出」事業が採択されました。企業が在庫管理において廃棄せざるを得ない品々を必要な方々に届けるとともに、コロナ禍でも人とのつながりを絶やさない支援の仕組みづくりに取り組みます。

11月 民間防災プロジェクト
「みんなDE備蓄」開始



災害時に必要な緊急支援物資を平時から備えるためのクラウドファンディング「民間防災備蓄プロジェクト～みんなDE備蓄～」(ふるさと納税)をスタート。
◀詳しくはこちら
<https://www.furusato-tax.jp/gcf/1506>

2021年を振り返る



**日本プロ野球選手会と
連携協定を締結**



12月6日、日本プロ野球選手会と災害支援に関する連携協定を締結し、合わせて「日本プロ野球選手会災害支援基金(通称：選手会ファンド)」を設立しました。

災害が増える中、「緊急対応」「復旧・復興」「防災」など災害支援のあらゆるフェーズで連携し、特に「初動」に焦点を当てた活動により一層力を入れます。

佐賀県唐津市で講演



佐賀県唐津市の市民交流プラザで、10月20日に開催された「令和3年度誘致CSOとの交流会・協働に関する意見交換会」で根木代表理事が登壇。「防災と災害支援」をテーマにお話ししました。

メディア情報

- 21.11.23 **新聞** 佐賀新聞
「自然災害に備え協業 シビックフォースと東京海上日動佐賀支店」
- 21.11.04 **新聞** 熱海経済新聞
「熱海・伊豆山土流災害から4カ月、地域団体が主体になった復興支援へ」
- 21.10.20 **WEB** お金マニュアル
お金の教科書「おすすめの募金・寄付先」
- 21.10.07 **新聞** 熱海新聞
「地域の憩いの場復活へ 逢初地蔵堂復旧進める」

ほか多数

**プログラムコーディネーター募集
@福島・岩手**

東日本大震災「NPOパートナー協働事業」のプログラムコーディネーターを募集しています。福島県と岩手県を拠点に被災地の復興支援に携わってくださる方のご応募をお待ちしています。



**NPOパートナー
協働事業**

もっと気軽に社会貢献!

活動全般

- ふるさと納税(佐賀県NPO支援)
<https://www.furusato-tax.jp/city/product/41001/107>
- バリューボックス「チャリボン」
<http://www.charibon.jp>
- ヘッズ「チャリティハピネスレジ袋」
<https://www.e-heads.co.jp/products/detail2/3219>
- サンナップ(アスクル限定販売)「フェーズフリー認証 紙コップ メジャーメント」
<https://askul.disclosure.site/ja/themes/103>
- 本棚お助け隊「古本チャリティ募金」
<https://hondana.biz/charity-application/>
- ECナビ「スマイルプロジェクト」
https://ecnavi.jp/smile_project/

新型コロナウイルス緊急支援

- BEAMS「ビームスマスク」
<https://www.beams.co.jp/brand/901658/>
- Yahoo!ネット募金
 - パートナー協働事業 <http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747017>
 - 病院にトレーラー等貸与 <http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747016>
- GlobalGiving(英)
<https://www.globalgiving.org/projects/coronavirus-relief-aid-distribution/>

東日本大震災




- Yahoo!ネット募金
<http://donation.yahoo.co.jp/detail/3747011>

1日33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が必要です。マンスリーサポーターとして毎月定額(1000円単位)のご寄付で支えてください(クレジットカードのみ)。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964
- ゆうちょ：00140-6-361805
上記いずれも口座名義は「コウエキシャダンハウジン シビックフォース」
- クレジットカード：HP「オンライン募金」より
<https://bokinchan3.com/civicforce/donation/bokin/page1.php>

公式SNS

-  **twitter**
<https://twitter.com/civicforce>
-  **YouTube**
<http://www.youtube.com/civicforceorg>
-  **facebook**
<https://www.facebook.com/civicforce>
-  **Instagram**
<https://www.instagram.com/civicforce/>